



International
Day of Light
16 May

公開シンポジウム



日本学術会議
SCIENCE COUNCIL OF JAPAN

2022年 国際光デー記念シンポジウム

～中堅・若手研究者が語る光科学技術の未来～

主催 日本学術会議総合工学委員会ICO分科会 共催:国際光年協議会

協賛 公益社団法人応用物理学会、一般社団法人日本光学会、一般社団法人日本物理学会、公益社団法人日本化学会、一般社団法人電子情報通信学会、一般社団法人レーザー学会、公益社団法人日本分光学会 (含 予定)

我が国における「国際光デー」(5月16日)の記念行事として、近い将来の光科学技術を担うと期待される中堅・若手の研究者が、同分野の未来を展望するシンポジウムを開催する。これにより、この分野の研究者のみならず、学生や一般市民が、同分野の意義について理解を深めることを期待する。

日時 令和4年5月10日(火) 13:00～16:50

場所 日本学術会議講堂(東京都港区六本木7-22-34 千代田線乃木坂駅5番出口)
(ハイブリッド開催)

プログラム

司会 笹木 敬司 (北海道大学電子科学研究所 教授)

13:00 開会挨拶

荒川 泰彦 (東京大学ナノ量子情報エレクトロニクス研究機構 特任教授)

13:05 講演1: 光量子コンピュータの未来

武田 俊太郎 (東京大学工学系研究科 准教授)

13:30 講演2: 精密分子分光のこれまでとこれから

岩國 加奈 (電気通信大学コヒーレント光量子科学研究機構 助教)

13:55 講演3: 光格子時計の開発と測地応用に向けて

高本 将男 (国立研究開発法人理化学研究所開拓研究本部 専任研究員)

14:20 講演4: スマートフォニック結晶レーザー

メーナカ デゾイサ (京都大学工学研究科附属光・電子理工学教育研究センター 講師)

司会 野田 進 (京都大学工学研究科 教授)

15:00 講演5: 集積フォトンクスに基づく光波合成・検出素子の新展開

種村 拓夫 (東京大学工学系研究科 准教授)

15:25 講演6: トポロジカルフォトンクス: 純粋数学が与える光学の新しい潮流

雨宮 智宏 (東京工業大学科学技術創成研究院 助教)

15:50 講演7: フォノンエンジニアリングの創成

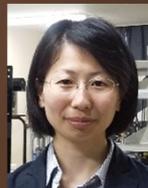
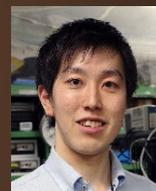
野村 政宏 (東京大学先端科学技術研究センター 准教授)

16:15 講演8: 深紫外光により生体を診る

熊本 康昭 (大阪大学工学研究科 助教)

16:40 閉会挨拶

美濃島 薫 (電気通信大学情報理工学研究科 教授)



現地参加の定員は170名(申込先着順)です。定員超過の際はオンラインとなります。
オンライン参加の定員制限はありません。いずれも以下のURLより申込み下さい。

<https://forms.gle/QKkBV8i9Smn6ycjJ7>